

2 0 2 2 年 度

事業報告書

公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

2022年度事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1. 事業の経過の概要

2022年度は「コロナ禍」の影響から脱しきれない事業環境の下、昨年度に続き厳しい運営を余儀なくされました。

その様な状況下においても「交響管弦楽その他音楽の普及振興を図る」とともに「青少年層の音楽鑑賞・演奏に関する指導を行う」という基本方針に基づいた我が国の文化芸術の振興、並びに大阪を中心とした地域貢献に資する事業を、感染拡大防止策を徹底しながら実施いたしました。

尤も、主要事業である大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏活動については、計画した98公演(実績107公演)は全て開催出来たものの、過去2年間にわたるコロナ禍で減少した入場者数並びに依頼公演数の回復は依然厳しく、コロナ以前の水準への復帰にはまだまだ課題を残した結果となりました。

上記より、当年度の財務実績は、楽団の自助努力と一部理事会社や法人からの寄付等もあり、経常収益922百万円(前年度比+77百万円、計画比+85百万円)、経常費用965百万円(前年度比+119百万円、計画比+41百万円)、経常増減額▲43百万円(前年度比▲43百万円、計画比+44百万円)と計画対比で赤字幅は圧縮できたものの2期連続での赤字決算となりました。

当協会の重点課題である「自立に向けた収益基盤の充実」、「オーケストラの体制整備」の実現につきましては、今後も厳しい状況が想定されます。次年度におきましても、新型コロナウイルス感染症の位置づけの変更等を踏まえ、安全で安心な演奏活動に積極的に取り組むとともに、収益確保と経営改善にも注力してまいります。

2. 2022年度重点課題の実施状況

(1) 自立に向けた収益基盤の充実

2022年度の公演回数は、当初の事業計画98公演(自主公演39公演、依頼公演59公演)に対し、実績107公演(自主39公演、依頼公演68公演)となりました。

定期演奏会では若手から巨匠まで国内外の様々なタイプの指揮者、独奏者を

招き、古典派作品から現代曲まで幅広い作品に取り組みました。また、自主公演では、前年度のドヴォルザーク・セレクションに続く特別企画として、尾高忠明音楽監督の指揮により、フランス音楽を集めた「音楽の宝石箱」を開催し好評を博しました。

また2022年度は新型コロナウイルスの影響を受けつつも、海外の共演者がほとんど来日可能となり、予定していた演目を変更することなくお客様にお届けすることが出来たことは、アフターコロナに向けて大きく前進できたと感じております。

今後も、コロナ禍によってコンサートから遠ざかっているお客様を呼び戻し、新たなファン層を増やす工夫と努力を続けてまいります。

(2) オーケストラの体制整備

楽団員の体制につきましては、中期的目標である80名体制の整備に向けて、定期的に入団オーディションを開催しておりますが、当年度の合格者2名に対し、クラリネット奏者1名、トランペット奏者1名、トロンボーン奏者1名が退団したため、結果、2023年3月31日現在で、コンサートマスターも含めた楽団員数は64名となっております。

トップレベルの楽団員の確保は演奏水準の維持・向上にとって不可欠であり、中期的目標を視野に引続き確保に努めてまいります。

コンサートマスターにつきましては、引き続きソロ・コンサートマスターを崔文洙氏、コンサートマスターを須山暢大氏に務めていただき、分担して演奏会へ出演いただきました。

(3) 大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献

大阪の秋の風物詩として街の活性化にも貢献している「大阪クラシック」については、17年目となる2022年度も桂冠指揮者の大植英次マエストロがプロデューサーを務め、2022年9月上旬の1週間開催いたしました。

前年度と同様に新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、有料公演だけでなく無料公演も復活させ、ステイホームで楽しんでいただける無料動画配信も実施し、来場者数7,267人と動画再生回数21,296回という結果に、大阪市からも高い評価を頂きました。

3. 大阪フィルハーモニー交響楽団の運営状況

(1) 定期演奏会(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

回数	開催日	指揮者	共演者	入場者数
第557回	2022.4.8・9	尾高忠明	藤田真央(代演)	2,506人
第558回	2022.5.30・31	シャルル・デュトワ	—	2,885人
第559回	2022.6.24・25	ロバート・トレヴィーノ	—	1,591人
第560回	2022.7.22・23	ユベール・スダーン	—	1,735人
第561回	2022.9.22・23	尾高忠明	池田香織	2,030人
第562回	2022.10.21・22	ミシェル・タバシュニク	大阪フィルハーモニー合唱団	1,868人
第563回	2022.11.18・19	エリアス・グランディ	ミシェル・ダルベルト	2,156人
第564回	2023.1.19・20	尾高忠明	—	2,045人
第565回	2023.2.17・18	デイヴィッド・レイランド	—	2,349人
第566回	2023.3.17・18	カーチュン・ウォン	パトリツィア・コパチンスカヤ	2,599人

新型コロナウイルスの影響により、第557回定期演奏会の独奏者アンヌ・ケフェレック氏が来日不可となりましたが、それ以外の外国人アーティストとは共演が叶いました。そしてその素晴らしい音楽性とテクニックは聴衆を魅了し、大阪フィルの演奏レベルを更なる高みへと引き上げてくれました。

その他、第558回のシャルル・デュトワ氏指揮による公演は公益財団法人アフィニス文化財団様から「音楽文化の担い手としてのプロオーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として評価され「アフィニス エンブレム」の助成を受けました。

(2) フランス音楽シリーズ～音楽の宝石箱～(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

尾高音楽監督と就任初年度より企画してきた、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキー、ドヴォルザークに続く特別企画として、フランス音楽に取り組み、計3回の公演を通して大阪フィルのサウンドを洗練させると共に、大阪市からは「大阪の魅力を広く発信でき、新たな鑑賞者・参加者の創出に結びつく工夫のある企画」として評価され、大阪市芸術活動振興事業助成金を受けました。

(3) 東京定期演奏会

1月24日にサントリーホールで開催し、尾高監督の指揮で池辺晋一郎の交響曲 第10番「次の時代のために」と大阪フィルが得意とするブルックナーの7番を披露しました。演奏は文化庁をはじめ東京の主要な音楽評論家、マネジメント会社、企画制作会社等から高い評価をいただき、日本のクラシック音楽業界に対し大阪フィルの存在感を強くアピールすることが出来ました。

(4) マチネ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

夜間のコンサートへの来場が難しいお客さまのために、平日昼間に開催する本格的なコンサートとして、Vol. 27、Vol. 28の2公演を開催いたしました。

(5) ソワレ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

クラシック音楽に馴染みのない方でも楽しんでいただける、古今東西の名曲を集めたコンサートとして、Vol. 19、Vol. 20の2公演を開催いたしました。

(6) その他の自主公演・共催公演

「ドラゴンクエスト・コンサート」1公演

「神戸特別演奏会」1公演

「親子のためのオーケストラ体験教室」4公演

「3大交響曲の夕べ」1公演

「京都特別演奏会」1公演

「第9シンフォニーの夕べ」2公演

「新春名曲コンサート」1公演

(7) 大阪市からの委託事業等

地元西成区の音楽文化振興を目的として、大阪フィル会館を会場に毎年開催している「にしなりクラシック」を1公演開催いたしました。

また、「大阪クラシック」では、大阪クラシック実行委員会からの委託事業として、オーケストラ公演を2公演開催いたしました。

大阪市の公募型プロポーザル方式で採択された「はじめましてオーケストラ」(大阪フィルと中学生の共演コンサート)を1公演開催いたしました。

(8) 依頼公演

国や自治体（(7)の公演を含む）、企業・団体・ホールからの依頼公演を年間を通じて68公演開催し、クラシック音楽の普及はもちろん、学校教育や企業・団体の社会貢献活動の取り組みに音楽の提供を通じて貢献することができました。

4. 大阪フィルハーモニー会館の運営

当協会が保有する大阪フィルハーモニー会館のメインホール(600㎡)・市民スタジオ(90㎡、40㎡×2の3室)を、市民の音楽活動の拠点として貸与する事業を通じ、地域の音楽文化の普及、振興に貢献いたしております。2022年度の利用件数は、昨年度に続く新型コロナウイルス感染症の影響はありつつも、メインホール102件、(前年度：78件、+31%)、市民スタジオ3室合計644件(前年度460件、+40%)となり、一定の回復傾向を示しました。

5. 法人の庶務

(1) 総会

・ 定時総会 開催日 2022年6月17日

決議事項

議案① 2021年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案② 2021年度貸借対照表、正味財産増減計算書、
それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案③ 理事全員任期満了に伴う理事24名選任の件

議案④ 監事全員任期満了に伴う監事2名選任の件

(2) 理事会

・ 定時理事会 開催日 2022年5月17日

決議事項

議案① 第11回定時総会招集の件

議案② 2021年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案③ 2021年度貸借対照表、正味財産増減計算書、
それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案④ 理事全員任期満了に伴う理事候補24名選任の件

議案⑤ 監事全員任期満了に伴う監事候補2名選任の件

議案⑥ 顧問1名選任の件

・定時理事会 開催日 2022年3月8日(書面)

決議事項

議案① 2022年度事業計画(案)及び収支予算書(案)承認の件

(3) 会員の状況

本年度末の会員数：法人 235社 個人 231名 計 466名

前年度末の会員数：法人 242社 個人 246名 計 488名

差引：法人 ▲7社 個人 ▲15名 計 ▲22名

(内 訳)

入会：法人 2社 個人 11名 計 13名

退会：法人 ▲9社 個人 ▲26名 計 ▲35名

2022年度新規加入会員

(法人の部) 2社

Design Fresco 株式会社、株式会社船井興産

(個人の部) 11名

菊池正和、大西信幸、村尾伸一、松本一生、河合祥多、河合佳世、
匿名5名

(4) 役員の異動

2022年度中の役員の異動は下記のとおり

(退任役員)

・常任理事 中嶋 啓吾氏 (株式会社竹中工務店 代表取締役執行役員副社長)

2022年6月17日退任

・常任理事 彌園 豊一氏 (関西電力株式会社 取締役代表執行役員副社長)

2022年6月17日退任

・理事 宍道 学氏 (株式会社朝日ビルディング 代表取締役社長)

2022年6月17日退任

- ・理事 高津 英泰氏 (讀賣テレビ放送株式会社
ビジネスプロデュース局局長)
2022年6月17日退任
- ・理事 鶴田 七郎氏 (シャープ株式会社 総務部長)
2022年6月17日退任
- ・理事 長谷川 壯氏 (株式会社毎日放送 経営戦略局)
2022年6月17日退任
- ・理事 和田 謙也氏 (日本製鉄株式会社 薄板事業部
ブリキ・電磁鋼板営業部 ブリキ国内室長)
2022年6月17日退任

(新任役員)

- ・常任理事 近藤 泰正氏 (株式会社竹中工務店
代表取締役執行役員副社長)
2022年6月17日就任
- ・常任理事 森本 孝氏 (関西電力株式会社 取締役代表執行役社長)
2022年6月17日就任
- ・理事 多賀谷 克彦氏 (株式会社朝日ビルディング役員待遇社長付)
2022年6月17日就任
- ・理事 玉井 順一氏 (日本製鉄株式会社 大阪支社 総務室長)
2022年6月17日就任
- ・理事 東 寿氏 (シャープ株式会社 管理本部総務部
上席参事)
2022年6月17日就任
- ・理事 三村 千賀氏 (株式会社毎日放送 エリアプロデュース局
SDGsプロジェクト室長)
2022年6月17日就任

※ 各氏の所属会社・団体での職位は、いずれも就任・退任時の職位

以上

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会 役員一覧
(2023年3月31日現在)

理事長 奥 正之
常務理事 松村 隆
常任理事 角元 敬治
" 近藤 泰正
" 新沼 宏
" 福田 里香
" 室町 鐘緒
" 森崎 健志
" 森本 孝
理 事 天野 剛志
" 安藤 恭輔
" 大場 英幸
" 小原 一泰
" 川合陽一郎
" 斉藤 裕典
" 多賀谷克彦
" 玉井 順一

理 事 中谷 敏昭
" 西岡 信雄
" 東 寿
" 秀高 誠
" 三村 千賀
" 山本 卓彦
監 事 長田 晃一
" 森下 文夫
顧 問 太田 房江
" 小野寺 昭爾
" 北岸 松男
" 關 淳一
" 筒井 義信
" 中川 和雄
" 橋本 雅博